

縮小社会研究会の報告「落合栄一郎氏との懇談会」

「病む現代文明を超えて持続可能な文明へ」、「原爆と原発—放射能は生命と相容れない」、「放射能と人体」などの著者である落合栄一郎氏が来日されます。落合氏は東京大学出身の化学者（生物無機化学）で、ヨーロッパ、アメリカの大学で勤務し、現在はバンクーバー在住です。「病む現代文明を超えて持続可能な文明へ」の最後の18章の”持続可能な未来文明のイメージ”、19章の”持続可能文明への道のり”は、縮小社会への道と同趣旨であります。落合氏の考えや海外の事情を教えてくださいたいと思います。東京と京都で懇談会を開催します。

【東京】終了しました。12名の参加で、アメリカ事情から放射能と人体の関係まで、幅広く討論し、懇親会でも議論に花が咲きました。

時：2014年9月23日、16-18時

所：一般社団法人 共生社会実現研究所（会員の平智之さんの事務所）

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-9 神保町ハヤオビル 8F（地下鉄神保町駅 7番出口から徒歩1分）、<http://yahoo.jp/cfYBhY>、tel: 03-6273-7764

自由に懇談します。終了後、近くで懇親会を開催します。

会場の定員が12名ですので、早めに下記より参加登録願います。

http://confreg.ate-mahoroba.jp/confreg?conf_idstr=78WQ7ZsleXA7zTR0F0u9MCeu741

【京都】終了しました。台風接近中でしたが、満員の24名の参加で、縮小社会の必然性から放射能と人体の関係まで、19時まで幅広く討論しました。

時：2014年10月5日、14-17時

所：縮小社会研究会の事務所 京都市左京区田中里ノ前 21 石川ビル 305（一階はリカーマウンテン）、<http://www13.plala.or.jp/npo-pie/access.html>、Tel: 075-711-4832

落合氏の講演「持続可能縮小社会と科学技術の再考・教育など」と懇談、

講演要旨：経済の縮小化には、科学技術の最先端（ロボット化など）の再考が必要であるが、脱原発はその最大の課題の一つである。人類は現在多くの問題を抱えていて、教育をこうした問題を検討する機会を提供するように方向転換する必要がある。

そのあと17時より懇親会を開催します。